



図書館ニュース

令和6年度 11月号

発行 古川高校図書館

担当 2-1・2-2

(図書委員会)



※著作権法に則り、一部画像を省略しております。ご了承ください。

図書委員のおすすりめ本

『アンナ・カレーニナ』
 著: レフ・トルストイ
 主な舞台は1870年代のロシア。政府高官カレーニンの妻である美貌のアンナは兄夫婦の喧嘩の仲裁のために訪れたモスクワで、青年将校ウロンスキーと出会う。俗物官僚の夫との愛情のない日常への倦怠から、二人は激しい恋に落ちていく。

『ノルウェイの森』
 村上春樹
 人間関係や青春の葛藤を描いた心に残る物語。高校生にはぜひ読んでほしい作品です。

『アンデッド・ガール・マダー・ファルス』
 青崎有吾
 19世紀末。異形な存在がまだ暮らしていた世界。首から下のない不老不死の美少女探偵・輪堂鴉夜が、鬼殺しの異名をもつ半人半鬼の真打・津軽と、彼女に付き従うメイドの馬也井静句と共に、小怪物専門の探偵として、数々の事件を解決しながら、奪われた体を探して、ヨーロッパを巡る物語。

『medium 霊媒探偵城塚翡翠』
 相沢沙呼
 城塚翡翠と名乗る霊媒師は、死者と視る力を持っていて、推理作家の香月史郎と共に連続殺人事件を調べることに係るミステリー。ミステリー好きな人にはたまらない内容だと思います。

in 大崎市図書館

古高図書委員の おすすめ本紹介

大崎地区の高校が1ヶ月交代で大崎市図書館
2Fティーンズコーナーの展示をしています。
12月は古川高校と南郷高校が担当します。
今回は主に“3年生が文化祭で紹介したおす
すすめ本”を中心に展示する予定です。
図書館に行った際はぜひご覧ください。



※昨年度の展示です。

蔵書点検を 行います

12/5(木)~12/16(月)

図書館の本が行方不明になっていないか、1冊1冊
チェックしていく作業です。

*長期延滞している人は速やかに
ご返却ください。

*蔵書点検中も貸出・返却はしています。



書物占い ビブリオマンシー

図書館に来たら
やってみない？

「書物占い」とは、直感的に開いた本のページから自分
へのメッセージを読み取るものです。

古代ローマ時代には「ホメーロス」などを用いて行われ
ていたそうです。あなたに勇気や自信をくれることばと
出会えるかもしれませんよ。

表紙
『ペンギン
占いカラフル』

「今日の自分に必要なことは？」
など、何かことばを思い浮かべ
て開いてみて。

11月
ランクアップ式
賞状の新受賞者

ブロンズ賞

1年生…1名



初 プラチナ賞

1年生…1名
3年生…1名



新着図書案内

読書の秋、いつもよりたくさん本を購入しました。考査で読書をガマンしてた人、探究の文献調査をしている人、進路に向けてがんばっている人へ…今回は、できる限り本を紹介します！

表紙

『赤ずきん、アラビアンナイト
で死体と出会う』 青柳碧人/著
赤ずきんが事件に巻き込まれるシリーズ第3弾。今度は魔神と出会い、魔法の絨毯に乗り…謎は解決出来るか？

表紙

『夏目漱石解体全書』増補版
香月ゆら/著
漱石が大好き！な著者が可愛いイラストで、漱石の生涯、作品、門下生、ゆかりの地などを紹介。

表紙

『いつか会ったあなたと、きっと
出会う君に』 石野晶/著
大学生の晴文は彼女の雛子と故郷を巡る旅行へ。朝起きると、なんと雛子は5歳の少女に！一方の雛子は小さい頃から度々、「神隠し」に合う経験をしていた。これらの不思議な出来事にはすべて理由があった。それは…。

表紙

『短歌うたことば辞典』
梅内美華子/著
まほら、たまゆら、道おしえ…和歌・短歌で読まれた美しいことばと、名歌を集めた辞典。調べものにもおすすめ。

表紙

『サリエリはクラスメイトを
二度殺す』 額賀濤/著
高校、そして大学の卒業演奏会再び起きた殺人事件。動機は嫉妬なのか、それとも…。誰かと自分を比較して苦しむ若者たちを描くミステリー。

表紙

『ことばが変われば社会が変わる』
中村桃子/著
「セクラハラ」ということばが使われるようになった結果、見えるようになったものとは…。ことばと社会は密接している。その面白さ、大切さを読み解いてみよう。

表紙

『もうじきたべられるぼく』
はせがわゆうじ/作
もうすぐ食べられる「うんめい」を受け入れた子牛がさいごにしたこととは。(※借りて読んだ方がいいです。館内では、泣かずには読めないかと思いました…。)

表紙

『そのまま使えるアイズブレイクの
アイデア帳』ワークショップ探検部/著
初対面同士の集まり、会議、イベント等で緊張をほぐすゲーム等を紹介。学校で使えるアイデアもあります。

表紙

『思春期のしんどさってなんだろう？』
鴻巣麻里香/著
学校や家が苦しい…でもこれって私が思春期だから？と思ってませんか。客観的視点も持って、その苦しさの正体を探ってみませんか。

表紙

人気シリーズ続刊！
『満月珈琲店の星詠み』4巻
望月麻衣/著
三毛猫マスターとおいしいスイーツにホッとするとときをもらえます。

表紙

『阿Q正伝』 魯迅/著
3年生は国語で魯迅について学習したのではないのでしょうか。藤野先生、故郷、狂人日記など9編の短編集。

表紙

『鬼箱通覧』2巻 榎野道流/著
法医学のミステリー。

表紙

『東京のワクワクする大学博物館めぐり』 大坪覚/著
学生ではなくても、ほぼ無料で気軽に行ける大学博物館110件を紹介。オープンキャンパスの時など知っておくといいですよ!

表紙

『「自分の意見」ってどうつくるの?』 平山美希/著
フランスの高校生が学ぶ「考え方」の授業—思考の5つのステップを説明。自分の考えを持つ、表現する力を養ってみよう。

表紙

『チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもにきみはチョコレートをあげるか?』 木下理仁/著
書名にあるような、“どうすることが正しいのか、正解なのか”が分からない問いに対して、みんなで意見を言っていく。そんな形式の本。多文化共生に関心がある人に特におすすめ。

表紙

『散歩が楽しくなる空の手帳』 森田正光/著
空や雲の美しい写真を見るだけで楽しめます。けれど、現象の仕組みなどを読むと、もっと空を見上げたくなるワクワク本。 

表紙

『マンガ三国志』1~2巻 吉川英治/原作
この時代の国同士や人々の関係、有名な出来事などをマンガで学習。漢文の勉強にも役立ちます。

表紙

『地図でスツと頭に入る幕末・維新』 木村幸比古/著
激動の幕末。覚えようと思っても文章だけではなかなか難しいのでは…? この本は西郷隆盛などキーパーソンとの人間関係を相関図で、主要事件における各藩の動きを矢印で示してくれているので理解しやすいですよ。

表紙

『マンガで学ぶスポーツ倫理』 林芳紀・伊吹友秀/著
わざとのファウル、弱点を攻める…スポーツをしている人なら一度はモヤモヤしたことがあるような例を参考に、スポーツや部活の意味を考えます。

表紙

『動物福祉 世界の歩みと日本の取組み』 植木美希 ほか/著
日本では遅れている家畜の健康と幸せを考える取り組み。ペットの幸せ等、動物の人間との関係を見直すための本。

表紙

『ファストファッションはなぜ安い?』 伊藤和子/著
服が安いと助かる。けれど…それは、外国での過酷な労働に支えられている場合がある。そこに目を向けてみませんか?

表紙

『弱い力でも使いやすい頼もしい文具たち』 波子/著
ホッチキス、ハサミ…使うのが難しい人もいる。困っている誰かのことを想像して開発された文具を集めた本。

表紙

『知識ゼロでも楽しく読める!化学のしくみ』 竹田淳一郎/著
寝ぐせってどうしてつく? 牛乳はなぜ白い?…すべて化学で説明できます。「環境問題を起こさない製品づくり」など、読んでためになる知識も満載。

10月に1年生が「保健講話」でお話を聞いた船山先生の著書。他にも『絵でわかる薬のしくみ』という本を注文中です。

表紙

『〈麻薬〉のすべて』 船山信次/著
麻薬の光りと影双方の知識を正確に持つこと。さまざまな薬物に囲まれた現在の生活で一番恐ろしいのは「知らないこと」。麻薬の基礎知識、歴史、課題等を解説。